緑をつなぎ、笑顔をつなぎ、未来へつなぐ

つなぐ

農林水産省主導の

農業女子プロジェクトに参画しました！

農業女子キックオフミーティング

本会の「農業女子つ・な・ぐプロジェクト」とは

都市部女性 → 農業女子

① 気軽に農業体験できる機会づくり
② 農業を応援できるシステムづくり
の構築を通じて

- 農業ファンを広める
- 食と農、地域の価値に気付くきかっけづくり
- 都市農村交流の更なる発展

都市部女性との座談会の実施（2 月 19 日）での意見

・都市部在住の女性 9 名の皆様に参加いただき、農業女子や収穫体験のお話を交えながら、普段の食への意識や、交流への興味を伺いました。

・「農業・食に関して改めて考える機会だった」「健康を意識して栄養バランスに気を付けている」「生産者から美味しい料理を習いたい」「畑に行ってみたい」という積極的な意見を伺えた一方で、「農業は少し遠い存在と感じている」との声もいただきました。

農業女子が作った
りっぱなセロリや
加工品に皆さん驚き

農業女子との座談会と訪問調査の実施（11 月 21 日、12 月 4 日、3 月中下旬）での意見

・座談会や訪問を通して、総勢 14 名の農業女子の皆様から普段抱える課題や交流への思いなどを伺いました。

・収穫体験を受入れた方からは、一度で終わってしまい交流が続かないという課題もあった一方、「お母さん・子供たちに食の大切さを知ってほしい」「外国の方に地域の野菜を知ってほしい」「地域外から人を呼びたい」といった、新規層を見据えた交流への思いに触れました。

キックオフミーティング！農業女子から闊達な意見を聞きました

今後は、農業女子の皆様の思いや課題を、都市部に住む女性に“つなげ”、“伝え”、“交流する”ことで、新たな可能性や気づきにつなげていきたいと考えております。9 月にはJA東京アグリパーク（東京・新宿）において農業女子の皆様による、農産物や加工品のPR、農や食の魅力を発信する場を設定する予定です！（イベントに関する詳細は未定です。）

お問い合わせ【農業女子つ・な・ぐプロジェクト事務局　TEL：TEL：03-5297-0321　担当：平川・吉村】

都市農村交流事業　2019 年度の取り組み

「快汗！猫の手援農隊」 援農ボランティア開始から 20 周年

1999 年から始まり、20 周年を迎えることができました。
これもひとえに、皆様のご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

援農隊企画の基準書を作成し、目的・課題と対策の見直しを行いました。今後も、「農・食・地域の応援団」が増えるよう取り組んでまいります。

「都市と農村の交流」で目指したい姿を明示

企画への想いを明記

基準書

●めざましテレビ（フジテレビ系列・朝の情報番組）で紹介！
長野県中野市での援農隊の様子が紹介されました。
ふるさと倶楽部会員等の 20 名増加、
テレビを見て初めて援農隊に参加した方も。（下記）

1 週間かかる作業が
3 日間で終わった
農家さんもいるんです。

2019/12/5 放送　めざましテレビ
「イノ調」コーナーより

「これをお金にかえて生活しているんだよ、商品なんだよ」と始める前に言われたときに、背筋がピン！となって、ちゃんとやらないと！という気持ちになりました。
第 1 次産業に少しだけでも関われて自分の糧になったと思います。絶対になくなってはいけない職業だなぁと思いました。（10 代女性・初参加）

2020/1/25 実施
静岡県伊東市での援農隊

●「猫の手感謝祭」の開催！
西日本事務所企画の援農隊への参加者と受入先の方々が集まり、意見交換会・懇親会を行いました。
「行ってみたい援農ができました」や「より農業に対し深く興味を持ちました」などの感想をいただき、皆様の絆をより深める機会となりました。

懇親会会場での集合写真（大阪・道頓堀　大和屋本店にて）

猫の手援農隊意見交換会

2019/9/22 実施
開催は今回で 3 回目。
総勢 31 名の方にご参加頂きました。

都市農村交流事業　2020 年度取り組み予定

● LINE 等を使用した新たな募集形態による企画の検討
援農ボランティアが注目されている今、
時代のニーズに沿った企画づくりを行っていきます！

援農隊による人手不足解消だけでなく、交流を通して、地域の PR や課題解決に取組んでみませんか？

LINE 公式アカウントを始めました！

全国の農村に関する情報を配信中！

LINE 友だち登録
@728vhtfg

都市農村交流事業に関する　お問い合わせ【事業部　第 1 グループ　TEL:03-5297-0323】

交付金事業・省庁受託事業　2019 年度の取り組み

農林水産省　農山漁村振興交付金　農泊推進対策(広域ネットワーク推進事業)

「農山漁村地域を元気にするための地方版サミットの開催」

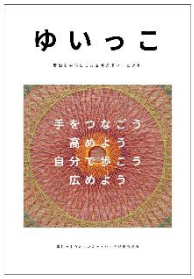
【実施内容①】地方版（東北）サミットの開催　2019 年 11 月 29 日（金）仙台市　日立システムズホール

農泊事業や地域づくりトップランナーのみなさんの講演やトークセッション、ビジネスマッチングを実施。
農泊のコンテンツ紹介として、「秋田弁によるラジオ体操」も披露。
会場一体となって、大いに盛り上がりました。

東北版農泊サミットの様子

【実施内容②】広域連携マニュアル委員会開催とマニュアル作成

全4回の広域連携マニュアル作成委員会を仙台市内で実施。
特に第3回委員会では、委員の方々と、北東北(盛岡～八幡平～阿仁打当～大館～仙北～角館)を訪問。
マニュアル作成に反映しました。上記東北版農泊サミットではサミット宣言もしていただきました。



広域連携マニュアル「ゆいっこ」表紙と内容の一部

サミット宣言を行うマニュアル作成委員の皆さんと委員会の様子

観光庁　受託事業

「歴史的資源を活かした観光まちづくり人材育成研修」

A コース講師と受講の皆さん

10 月の公開講座・説明会に始まり、12 月の A コース「エリアマネージャー」入門コースと、1～2月の B コース「事業計画書作成」実務コースで開催。全国からエントリーシートによって選ばれた、のべ27団体34名が受講、内容の濃い講義を通じてヨコのつながりも育まれました。

B コース講師と受講の皆さん

交付金事業・省庁受託事業　2020 年度取り組み予定

●農林水産省　農山漁村振興交付金　農泊推進対策(広域ネットワーク推進事業)
「経営人材育成研修」…農泊協議会あるいは農泊事業者の皆さんが更なる経営のブラッシュアップを行い、持続可能な地域づくりの推進を図ります。全国15カ所で開催予定。
●観光庁　城泊・寺泊による歴史的資源の活用事業(専門家派遣事務局)　　(2020 年5月末時点予定)

交付金事業・省庁受託事業に関するお問い合わせ【事業部　第 1 グループ　TEL:03-5297-0323】

日本農業検定事業　2019 年度の取り組み

日本農業検定で「農」についての知識を深めよう！

2020 年1月に実施した日本農業検定試験は、2,482 人が受検しました。
この内 JA グループでの受検者数は 1,930 名(62 団体)で全体の 77%を占めました。
JA の自己改革が進む中で検定への関心が高まって来ており、受検する団体も増えております。
普段の業務の中で農業や食の知識が求められる JA の職員の皆様にとっては、
農業の基礎知識を学ぶまたとない機会です。ぜひとも農業検定のご活用をご検討ください。

2019 年度　第7回日本農業検定試験結果

	1 級	2 級	3 級	合計
受検者数	289 名	745 名	1,448 名	2,482 名
合格率	45.7%	61.5%	75.1	67.6%

日本農業検定テキストのご案内

日本農業検定対応テキスト新版「日本の農と食を学ぶ」
初級～上級は下記の方法でご購入いただけます。
①日本農業検定ホームページ
②全国の書店

「日本農業検定」1級　練習問題

問　トマトに含まれている成分についての説明で正しいものはつぎの内どれですか。
①　トマトの赤い色は、機能性成分のリコピンという色素の色である。
②　リコピンはポリフェノールの一種で、強い抗酸化能を持っている。
③　トマトのうまみ成分としてイノシン酸を豊富に含んでいる。
④　実の中の子室に入っているゼリー状物質と種が少ない方がおいしいトマトである。

正解①

日本農業検定事業　2020 年度取り組み予定

第8回　日本農業検定実施要領

【申込期間】
●団体受検・公開会場
2020 年 10 月 1 日(木)～11 月 27 日(金)
●CBT 会場
2020 年 12 月 1 日(火)～12 月 25 日(金)

【1 級・2級・3級　試験日】
●団体受検(5名以上)
2021年1月8日(金)～16日(土)
●公開会場(東京・大阪)
2021年1月9日(土)
●CBT 会場（全国約250ヶ所）
2021年1月5日(火)～16日(土)

教育研修事業　2019 年度の取り組み

令和元年度自然・農林漁業体験におけるリスクマネジメント研修

「令和元年度　自然・農林漁業体験におけるリスクマネジメント研修」を実施しました！
実施日時：第 1 回　2020 年 2 月 13 日及び 14 日
　　1 日目 13 時～17 時　2 日目 9 時～15 時
会場：N ツアービル　会議室（東京都千代田区外神田 1－16－8）

本会リスクマネジメント研修

「自然・農林漁業体験におけるリスクマネジメント研修」は、普段の業務の中で安全についての意識醸成や、リスク回避に関するより実践的かつ専門的な知識を習得できる研修です。
2020 年第1回の研修では JA 様をはじめ自治体様、協議会様合計 8 名の方にご参加いただきました。
※2 月 27 日及び 28 日に予定しておりました第 2 回研修会は、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせて頂きました。
今年度の開催につきましては決定次第、下記HPにてお知らせ申し上げます。↓↓
https://www.znk-kensyu.jp/risk/

教育研修事業　2020 年度取り組み予定

旅行業務に関する各種研修会の開催（ご案内）

本会では、JA組合員や地域住民の余暇・観光レクリエーション活動への多様なニーズに応えるため、旅行業務に関する研修会を全国各地で行っています。
JA旅行センターをはじめとする、旅行業関係者の業務遂行能力の向上や資格取得拡大に貢献しています。
令和2年度の各研修会につきましては、本会ホームページで公開・募集しています！！
https://www.znk-kensyu.jp/

全国農協観光協会研修講座ガイド

●旅程管理研修会

本会は平成5年、運輸大臣（現国土交通大臣）から「旅程管理研修機関」に指定されました。以来、JA旅行センターなどの旅行業関係従業員を対象に全国各地で研修会を開催しています。事業を開始した平成5年から令和2年3月現在まで、「観光庁登録研修機関」として述べ1万4千人以上の「旅程管理主任者（添乗員）」を輩出しています。

●旅行業務取扱管理者国家試験対策講座

JA旅行センターをはじめとする旅行業関係者の資格拡充と担当職員の資質向上のため、全国各地で国家試験対策講座を開催しています。短期集中講座なので、旅行業界をめざす人のほか、運輸業・宿泊業やレジャー産業などに就業中の方にも大変好評です。

また、入学金・入会料は一切不要、受講料のみでどなたでも参加いただけます。総合・国内とも専任講師がていねいな講義を行うので、試験対策に大いに役立った、試験問題が解けるようになったなど支持を得ています。

■旅行業法に規定された国家資格とは、下記の二つです。
・国内旅行業務取扱管理者資格
・総合旅行業務取扱管理者資格

●旅行サービス手配業務取扱管理者研修

本会は平成31年1月、「旅行サービス手配業務取扱管理者研修」を行う「観光庁登録研修機関」となりました。以来、同研修会を開催しています。

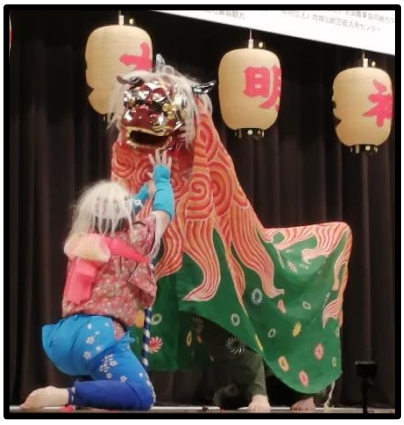
詳しくは、全国農協観光協会　検索

調査研究事業　2019 年度の取り組み（１）

第31回　民俗芸能と農村生活を考える会の開催

●令和2年2月15日に『第31回　民俗芸能と農村生活を考える会』を東京都千代田区の一ツ橋ホールにて開催しました。
「民俗芸能と農村生活を考える会」は、農山漁村地域に伝わる民俗芸能の紹介を通じて、地域農業と暮らし・文化について考える機会を提供し、民俗文化資源の保存・普及・活用および都市農村交流の拡大を目的に、平成元年より毎年開催しています。
今回は、長野県松本市奈川地区の紹介ならびに民俗芸能「奈川獅子」の公演を行い、奈川地区の現状や同地区において奈川獅子が果たす意義・役割等、地域と民俗芸能の関わりについて考える機会を提供しました。

●ホワイエにおいては「奈川地区の特産品販売」や「獅子頭の特別展示」の実施、さらに奈川地区の魅力や年に一度地元で行われる奈川獅子奉納の様子を記録した、特別映像「奈川獅子の里」の上映等、来場者がより一層同地区への関心を高めて頂くことに繋がる、新しい取り組みも積極的に行いました。



写真：奈川獅子公演

写真：特別映像「奈川獅子の里」

●今回の考える会では、年号が令和になってから初の開催となることを記念し、過去30回の公演を振り返る特別映像「30回の軌跡」の制作・上映、ホワイエにおけるパネル展示と資料の配布を行いました。
また、外国人来場者に対応した、公演前の「獅子舞オリエンテーション（事前解説プログラム）」実施や「英語表記の来場者パンフレット」作成・配布を行い、より深く奈川地区や奈川獅子の魅力を理解頂くための取り組みを行いました。

写真：獅子頭展示と外国人向けプログラムの様子

調査研究事業　2019 年度の取り組み（2）

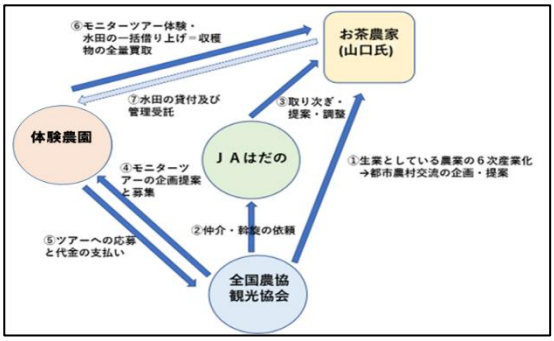
都内体験農園利用者を対象としたモニターツアーの実施

●「都市農村交流」に関する調査研究事業の一環として、神奈川県の「JAはだの」のご協力の下、都内の体験農園利用者を対象としたモニターツアーを 2019 年 6 月と 10 月に実施しました。

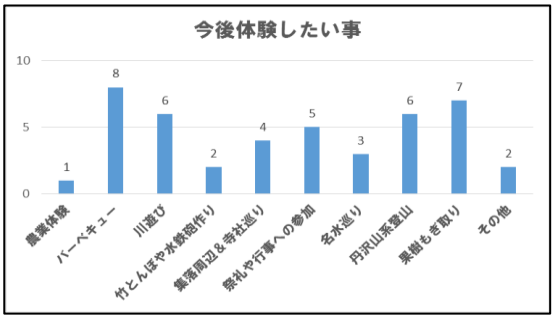
モニターツアーを通じて、参加者に秦野の里地里山の魅力を知っていただくとともに、ツアー中に行った「都市農村交流」に関するアンケート調査から、「都市部の体験農園利用者」の考えやニーズの把握を行いました。

今回のモニターツアーならびにアンケート結果の分析は、本会の調査成果物『**農山村地域における交流人口・関係人口拡大のための提言**』で公表しております。
本件を含めた本会の調査研究事業に関して、ご質問・ご相談がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

【総務部　調査研究課（担当：市場）TEL：03-5297-0321】



図：モニターツアーの取り組みフロー



図：アンケート結果（調査成果物一部抜粋）

調査研究事業　2020 年度取り組み予定

●第 32 回民俗芸能と農村生活を考える会（西日本開催）

●東京神田明神ホールでのインバウンド対象民俗芸能活用事業

●本会ホームページリニューアル

●農山漁村におけるインバウンド受入実効モデルづくり

予告版

JA東京アグリパーク出展のお知らせ

1回目：2020年9月22日（火・祝）～26日（土）

『農業女子つなぐプロジェクト』とのコラボ企画

2回目：2021年2月23日（火・祝）～27日（土）

本会会員向け『猫の手感謝祭』とのコラボ企画

その他、エコ活動や持続可能なプロジェクト等を企画中！

一般社団法人　全国農協観光協会から JA グループの皆さまへ

本会は、都市住民の皆様方に、JAグループ並びに全国の農山漁村地域の農と食に関する認知度向上を図るとともに、都市農村交流の一層拡大に繋がる広報・プロモーションを目的として、JA東京アグリパークへ出展いたします。

どんな時代であっても自然豊かな農山漁村の美しさや安全・安心でおいしい食べものは、わたしたちに元気を与えてくれることと思います。

本会はこれからも JA グループの皆さまとともに、日々の小さな喜びにつながるような活動を行ってまいりたいと思います。

この出展に際し、興味関心のある皆さまからの忌憚ないご意見やアイデアを心よりお待ちしております。お気軽に、お問い合わせくださいませ。

お問い合わせ
一般社団法人　全国農協観光協会
担当者：谷川
電　話：03－5297－0323
メール：s.terumi.tanikawa@i-znk.jp